

サービス推進室では、医療安全に関する情報を収集し、看護現場で役立つポイント等を付加して提供しています。それぞれの現場に応じた点検ツールとしてお役立てください。

No.1

休薬期間がある抗がん剤を連日投与したことによる死亡事故が発生しています。いまあらためて「誤訳防止のための6R」を確認しましょう。

脳腫瘍の抗がん剤を服用していた70代の患者が、医療機関Aとは別の医療機関Bの整形外科で抗がん剤を投与された。患者は、5日間連続投与した後23日間休薬していた。

なかでも、誤薬防止のための取り組みが重要である。誤薬防止のため

の具体的な確認事項として6R(表)が推奨されている。」としています。

Right Route	正しい用法(経路)
Right Time	正しい投与時間

《引用》日本看護協会「医療安全推進のための標準テキスト」(上表はP31に掲載されている)
<http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/anzen/pdf/text.pdf>

No.2

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、医療現場でも多言語対応への必要性和その取り組みがはじまっています。

総務省は、言葉の壁を取り除き、グローバルで自由な交流を実現するため、2020年までに多言語音声翻訳技術の実用化を目指すグローバルコミュニケーション計画の推進に取り組んでいま上